

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

## 見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

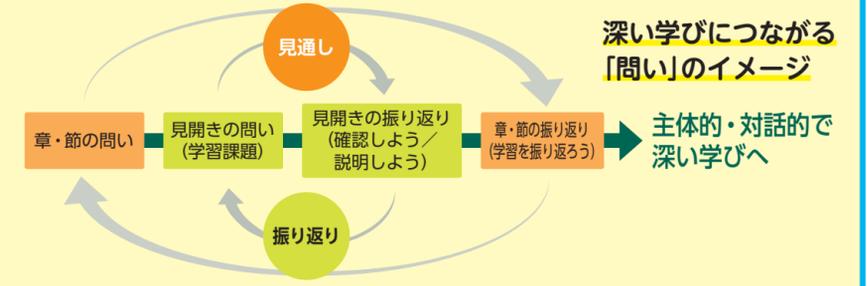
章・節を単元のまとまりとし、学習の見通し・振り返りがしやすい構成にしています。学習の見通し・振り返りを通して、学習者は「主体的・対話的で深い学び」を、指導者は「指導と評価の一体化」を実現できるようにしています。

章・節の展開 知・技 …知識・技能 思・判・表 …思考・判断・表現 主 …主体的に学習に取り組む態度

### ポイント

右のイメージのように、「節・章の問い」を受けた「学習課題」を各見開きに設置し、見通し・振り返り学習を積み重ねることで、「章・節の問い」にせまれるよう、「問い」を構造化しています。また、各問いの役割と関連を明確にしているため、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を着実に習得・育成でき、それぞれの観点別評価を適切に行えるようにしています。「章・節の問い」に取り組むことで、習得した「知能・技能」やそれを活用した「思考・判断・表現」を評価できるようにしています。また、単元を通した見通しと振り返りによって、自らの学びを調整し、粘り強く取り組む「主体的に学習に取り組む態度」を見ることができるようになっています。

問いの種類	観点別評価への対応		
	知	思・判・表	主
章・節の問い	◎	◎	◎
学習課題	◎	○	
確認しよう	◎		
説明しよう	◎	◎	



### 見通し

#### 写真で眺める 主

節の冒頭には「写真で眺める」を設置しています。大きく鮮やかな写真から地域を概観する学習活動を通して、学習する地域に対する興味・関心を高め、学習の見通しを立てることができ、「主体的な学び」につながるようになっています。

#### 章・節の問い

単元のはじめには「章・節の問い」を設置しています。「単元を貫く問い」を明示することで、見通しをもって学習に取り組めるようになっています。

#### 学習課題

各見開きに「章・節の問い」に対応した「学習課題」を設置しています。

#### 確認しよう/説明しよう

各見開きに「学習課題」に対応した「確認しよう/説明しよう」を設置しています。

#### 学習を振り返ろう

章・節末には「学習を振り返ろう」を設置しています。思考ツールを活用しながら対話を通して「章・節の問い」に取り組むことで、「対話的な学び」や「深い学び」を実現できるようにしています。

### 学習活動

### 振り返り

### 【例】第2部第2章第1節「アジア州」(p.46-63)

p.46-47

詳しくは本資料p.32

p.48

p.50-51

p.52

詳しくは本資料p.33-34

p.62-63

詳しくは本資料p.35-36

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

写真で眺める 主

**導入資料**

見開き左上の一番大きな写真は、各州・地方の＜地域を追究する主題＞＜注目する視点＞(本資料p.27-28)に関連しています。

p.46-47

NEW

「○○州/○○地方の学習を見通そう」

節の問いとなる主題を示し、見通しを立てて学習に取り組めるようにしています。QRコンテンツには「写真で眺める」の動画を収録しています。教科書以外の資料も見ること、主題や視点をより明確に意識して学習の見通しが立てられるようにしています。

本文ページ 知・技 思・判・表

**導入資料**

見開きの学習内容の核心をつき、かつ、生徒に「なぜ」を抱かせる資料を掲載しています。

**学習課題**

見開きの学習でおさえるべき目標を示しています。本時の学習内容を見通す問いです。

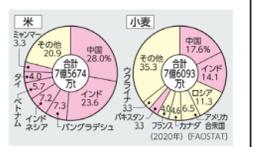
**本文**

背景や因果関係まで丁寧に記述しています。

p.50-51

**2 アジア州の農業・文化と経済発展**

1節の問い アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。



解説 **かんがい**  
農作物に与えるための水を、河川や湖、ため池などから水路を通して引き、農地を潤すことです。

50 小学校・歴史・公民・他教科との関連

**章・節の問い** NEW

「章・節の問い」を、各ページのタイトル下にも掲載しています。「単元を貫く問い」である「章・節の問い」を常に意識して学習に取り組めるようにしています。

**ポイント**

「章・節の問い」と見開きの「問い」の関係  
各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」でつかんだ学習内容の積み重ねが、「章・節の問い」の追究につながるようにしています。

→「章・節の問い」と各見開きの「問い」(学習課題・確認しよう・説明しよう)の関係のイメージ

**章・節の問い**

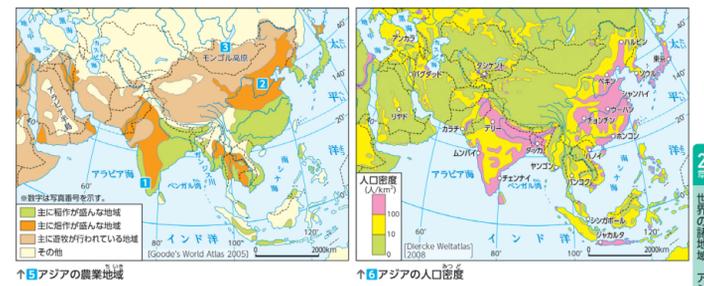


**確認しよう**

本文や図版から、学習上大切な事項を確認させる問いです。**正しく文章を読む力(読解力)を養い、知識の確実な定着を促しています。**

**説明しよう**

学習課題を振り返り、習得した知識を活用して**言語活動**につながる問いです。**思考力、判断力、表現力の育成を促しています。**



交流によって広まった宗教 アジアにはさまざまな民族が暮らし、人々が信じる宗教もさまざまです。それぞれの民族がほかの地域と交流することによって、宗教が各地に広まってきました。仏教は、インドで生まれ、スリランカや東南アジアに広まったほか、シルクロードを通して中国や朝鮮半島、日本へと伝わりました。西アジアや中央アジアで広く信仰されている**イスラム教**は、アラビア半島で生まれ、インド洋の海上貿易を通して南アジアや東南アジアにも広がりました。インドでは、多くの人が**ヒンドゥー教**を信仰し、フィリピンでは、ヨーロッパの人々の布教活動や植民地支配を通して伝わった**キリスト教**の信者が多数を占めます。

人口の集中と経済発展 アジアには世界の総人口の6割が暮らし、その多くが季節風の影響で湿潤な地域に集中しています。特に中国とインドという人口が多い国を抱える東アジアと南アジアは、古くから農業が盛んで、両地域で古代文明が栄えました。この二つの文明が栄えた地域の間位置する東南アジアは、近代になって開発が進み、人口が多い地域の一つになりました。

20世紀の後半には、日本に次いで韓国やシンガポールなどが経済発展を遂げ、21世紀にかけて東南アジアや中国が続き、今この動きは南アジアへ広がっています。こうした経済発展は、アジアの豊富な労働力を生かした工業化をもたらしたものです。経済発展を遂げた国々では都市化が進み、サンクトペテルブルクやデリー、ジャカルタなどの巨大都市が、アジアの各地に誕生しています。

**資料活用アイコン** 資料活用

「地理的な見方・考え方」を働かせるのに適した写真・資料に付しています。p.49、206など**全53か所**に掲載しています。

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

まとめとして単元末に「学習を振り返ろう」を設置しています。左ページでは学習した知識・技能を白地図を用いて確認できるようにしています。

右ページでは思考ツールを用いた学習事項の整理と、対話を通して「章・節の問い」に対する自らの考えをまとめることで、「深い学び」を実現できるようにしています。

## 「学習を振り返ろう」

知・技 思・判・表 主

↓p.62-63

**学習を振り返ろう** 1 節 (p.46 ~ 61) **アジア州**

1 節の問い = 見方・考え方 地域の特徴 (→巻頭 8)

アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。

**節の振り返り 1** 学んだことを確かめ、節の学習内容を振り返ろう **知識 地図帳活用**

- A~Fにあてはまる国名を答えよう。
- ㉔~㉖にあてはまる山脈名、海川名、半島名を答えよう。
- ㉑~㉓にあてはまる語句を、「節の重要語句」から選んで答えよう。

中央アジア・西アジア (→p.48~51, 60~61)

- 砂漠が多い
- イスラム教が多くの人々に信仰されている
- 原油などの資源が豊富
- 産油国が加盟する [㉑] は原油価格や生産量を決める

南アジア (→p.51, 58~59)

- [㉒] では人口の8割がヒンドゥー教徒
- 米や小麦のほか、輸出用の作物である茶や綿花の産地
- 近年 [㉒] では、英語や数学の教育水準が高いことなどを背景に、[㉑] が成長している

東南アジア (→p.56~57)

- 伝統的に各地で [㉑] が盛ん
- 大規模な農園である [㉑] で輸出用の作物を生産
- [㉑] には東南アジアのほとんどの国が加盟

降水が多い地域 (→p.49~50)

- [㉑] の影響を強く受ける
- 水田での [㉑] を中心とした農業
- 米が主食

節の重要語句 簡単な説明ができた語句にチェックを入れよう。

<input type="checkbox"/> 季節風 (モンスーン)	<input type="checkbox"/> 遊牧	<input type="checkbox"/> 一人っ子政策	<input type="checkbox"/> 儒教	<input type="checkbox"/> 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
<input type="checkbox"/> 雨季	<input type="checkbox"/> 仏教	<input type="checkbox"/> 経済特区	<input type="checkbox"/> 一極集中	<input type="checkbox"/> スラム
<input type="checkbox"/> 乾季	<input type="checkbox"/> イスラム教	<input type="checkbox"/> 世界の工場	<input type="checkbox"/> 華人	<input type="checkbox"/> 情報通信技術 (ICT) 産業
<input type="checkbox"/> かんがい	<input type="checkbox"/> ヒンドゥー教	<input type="checkbox"/> 経済格差	<input type="checkbox"/> 二期作	<input type="checkbox"/> パイプライン
<input type="checkbox"/> 稲作	<input type="checkbox"/> キリスト教	<input type="checkbox"/> 環境問題	<input type="checkbox"/> プランテーション	<input type="checkbox"/> 石油輸出国機構 (OPEC)
<input type="checkbox"/> 畑作	<input type="checkbox"/> 都市化	<input type="checkbox"/> ハングル	<input type="checkbox"/> 工業団地	<input type="checkbox"/> 難民

**節の振り返り 2** 節の問いについて、あなたの考えをまとめよう **思考・判断・表現**

国・地域	経済成長の背景	経済成長によって生じた影響 【○…よかった点、▲…課題点】
中国	①	②
韓国	・外国の資金・技術の援助 ・ICT産業の育成	○ ICT産業の発展で経済は力を取り戻した ▲人口と政治や経済がソウルに極集中し、農村との格差が生じた
東南アジア	・工業団地に外国企業を招く ・ASEANの結成	○工業化により、都市部の産業が発展し、ASEAN 経済共同体(AEC)などによって貿易や交流が活発化 ▲都市にスラムができたたり、交通渋滞や大気汚染などの問題が生じた
南アジア	③	④
中央アジア・西アジア	・原油や石油製品の輸出 ・恵まれた鉱産資源	○原油や石油製品の輸出で得た利益で、産業を発展させ、交通網・通信網の整備や教育などに生かした ▲資源が少ない国々の発展の遅れや、鉱産資源をめぐる利害関係の対立が生じる

①アジア州における経済成長の背景とその影響をまとめよう **思考ツール 巻頭 9 マトリックス**

**1 節の問いについて、図でまとめよう**

◆この節の学習を振り返りながら、図2の①~④を埋めて、アジア州における、経済成長の背景と地域への影響についてのまとめを完成させよう。

**2 節の問いについて、考えを深めよう** **対話**

◆図2をもとに、アジア州の経済成長とそれによる地域への影響を表す写真を、教科書やウェブサイトなどから1枚選ぼう。

◆グループになって、選んだ写真とその理由を発表しよう。そして、あなたたちだけの「写真で眺めるアジア州(→p.46~47)」をつくり、地域の特色を示すイラストをつけよう。

**3 節の問いを踏まえて地域の特色をまとめよう**

◆図2と②をもとに、アジア州の特色を文章で簡単にまとめよう。

**1 節の問い**

アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。

**ヒント1** アジア州に共通する経済成長の背景や特徴は？

**ヒント2** 経済成長によってよかった点と課題点は？

**振り返り** **主体的な学び**

- 節の問いの解決に向けて主体的に取り組むことができた
- できた
- あまりできなかった

節の学習を終えて、新たな疑問や探究したいこと、深めたいことなどを書き出そう。

**振り返り2-① 地域的特色を思考ツールにまとめる**

図2では、各見開きの学習を振り返りながら、地域的特色を思考ツールにまとめられるようにしています。思考ツールにまとめることで、学習内容の整理ができるようにしています。

**振り返り2-② 対話を通して考えを深める** **NEW**

①をもとに、グループで話し合いながらオリジナルの「写真で眺める」(本資料p.32)をつくれるようにしています。

**振り返り2-③ 節の問いを踏まえて地域的特色をまとめる**

①と②をもとに、地域の特色を自分の言葉で文章にまとめられるようにしています。

## 「主体的・対話的で深い学び」へ

↓巻頭 9

**考えを整理する方法 ~思考ツールを活用しよう~**

図や表を使って視覚的に整理したり考えを整理したりする方法を、思考ツールといいます。この資料では、図や表を使ったさまざまな思考ツールを紹介します。授業に活用して、学びを深めていきましょう。

- マトリックス** 分類する
- ベン図** 比較する
- ウェビング** 整理する
- ステップチャート** 整理する

QRコンテンツでは、次の思考ツールの解説や活用方法も紹介しています。ご確認ください。

※ステップチャート ※マトリックス ※ウェビング ※フラッグチャート ※フラッグチャート ※ツールボックス

**マトリックス** 比較する

3 対象ごとに視点に沿って記入し、比較する。

対象どうしを比較することで、対象の特徴がわかります。

	視点あ	視点い	視点う
対象A	○	×	○
対象B	○	○	×
対象C	×	×	○

↑QRコンテンツ 思考ツール「マトリックス」の活用手順説明動画

## ポイント

**思考ツールアイコン** **思考ツール 巻頭 9** **NEW**

視覚的に分析したり考えを整理したりする際に用いる図や表を、**思考ツール**といいます。思考ツールを活用する場面には「思考ツールアイコン」を付し、活用を促しています。また、巻頭9とQRコンテンツでは、教科書で取り上げている思考ツールの紹介と、活用の手順を動画で説明しています。

**思考ツールアイコン 掲載ページ一覧(全8か所)**

ページ	思考ツールの種類	ページ	思考ツールの種類
p.63	マトリックス	p.127	ステップチャート
p.79	マトリックス	p.181	ウェビング
p.89	ウェビング	p.231	マトリックス
p.90	ウェビング	p.279	ウェビング

**振り返り1 知識・技能の確認**

白地図で学習事項の確認ができるようにしています。

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

## 対話を通して学びを深める「アクティブ地理」

### アクティブ地理 AI

見方・考え方

人間と自然の関わり  
場所

## 自然災害から命を守ろう —災害の危険性と防災情報の活用—



ワークシートなど

学習課題

日本は豊かな自然に恵まれている一方で、自然災害が多く発生します。ここでは、イラスト地図を通して発生する可能性が高い自然災害について理解し、ハザードマップなどの防災情報を活用して、いつ発生するか分からない自然災害に備えよう。

## 1 イラスト地図から自然災害の危険性を考えよう

TRY1

- 1 あなたが図1の①のA~Dにいるとき、どのような自然災害の危険性があるのだろうか。周囲の自然環境などに注目して、起こりうる自然災害を挙げよう。
- 2 対話 Q1 Q2 のような判断の分かれ道(クロスロード)で、あなたは YES と NO のどちらを選択するのだろうか。そのように判断した理由をグループで話し合おう。

Q1 YES or NO

あなたは(自宅)にいます。台風の接近に伴い、昼過ぎから雨が激しくなり、午後6時には気象庁から大雨・洪水警報が発表されました。しかし、地元自治体からの避難指示が出ているのかどうか、分かりません。この時点であなたは避難を始めますか？

Q2 YES or NO

結局、そのまま自宅にとどまることにしました。その後、雨の降り方がひどくなり、避難しようと考えましたが、暗くて自宅周辺の状況も分かりません。その際、あなたは自宅の2階に避難しますか？ それとも200mほど離れたビルに避難しますか？



↑自宅や学校の周辺の様子を表した地図

NEW

「主体的・対話的で深い学び」を実践する特設「アクティブ地理」を新設しています。(全4テーマ)対話を通して課題に粘り強く向き合う姿勢や、他者との意見交換を通して合意形成を目指す態度を身に付けられるようにしています。

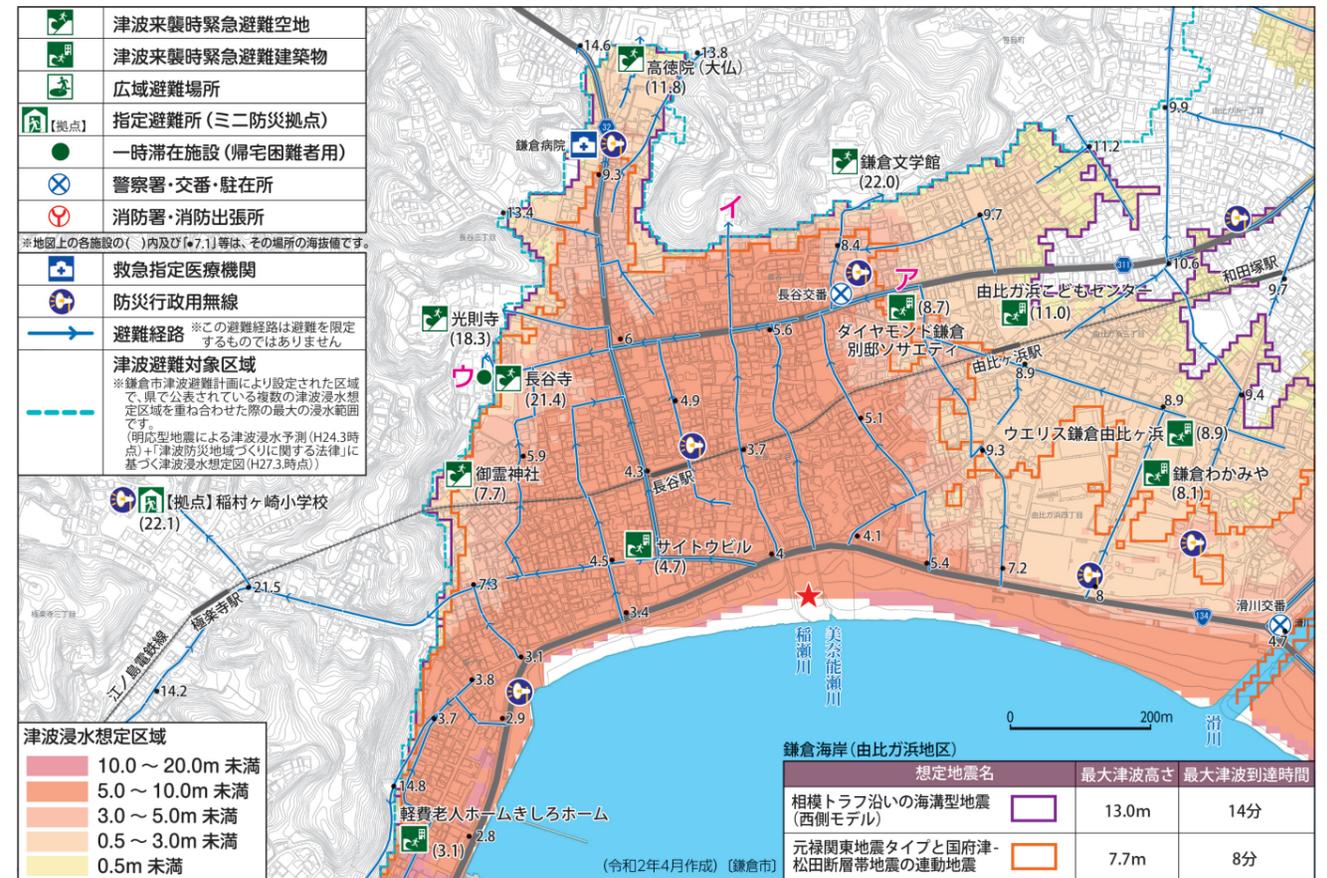
↓p.150-151 クロスロードやハザードマップを使って、防災・減災に対する実践的な知識・技能を習得できます。

## 2 ハザードマップを使って避難先を考えよう

原寸大

TRY2

- 1 図2の津波ハザードマップの「津波浸水想定区域」を見ると、長谷駅は何m浸水すると予測されているのだろうか。
- 2 あなたが図2の★の地点にいる時に、規模は分からないが津波発生を感じたら、A~ウのどこに避難すればよいのだろうか。津波到達時間も参考に、避難先と避難ルートを考えよう。
- 3 対話 あなたの考えた避難先・避難ルートを発表しよう。そして、なぜその場所・そのルートを選んだのかも説明しよう。



↑鎌倉市の津波ハザードマップ 自然災害の多い日本では、多くの地域でハザードマップの作成と配布が行われています。また、「ハザードマップポータルサイト」では、全国のハザードマップに関する情報を得ることもできます。

## 3 あなたが暮らす地域で起こりうる自然災害に備えよう

TRY3

- 1 写真3のような街なかにある防災に関する情報を、あなたが暮らす地域で見つけよう。また、インターネットなどを使って、防災に関わる情報を入手しよう。
- 2 あなたが暮らす地域のハザードマップを入手して、どのような自然災害の危険性があるのか、調べよう。
- 3 対話 2で分かった自然災害に対して、日頃からどのような備えができるのかを考え、グループで話し合おう。



←津波からの安全な避難を人々に促す取り組みの例(神奈川県鎌倉市、2022年)

振り返り

- 自然災害の発生危険性を理解し、防災情報の入手方法やハザードマップの活用方法を身につけることができた。
- 根拠を明らかにし、自分の意見を表現できた。

